

鹿児島県鹿児島市日中友好協会



福岡総領事館・鹿児島県立鹿児島東高等学校が交流

6月9日（水）に中国駐福岡総領事館と鹿児島県立鹿児島東高等学校とで、オンラインによる交流会を行った。総領事館からは律桂軍総領事、康暁雷副総領事、韓斌政治部部長、関麗敏・徐俊涛・王志坤領事、東高等学校からは三年生（29人）の中国語クラス生徒に加え、二年生代表4人、一年生代表2人も参加。最初に律桂軍総領事が挨拶、中国の魅力や中日若者の共通点の話もあった。学校代表挨拶は、元中国語教師の鏡山教頭が中国語で。中国語の授業は角野先生、補助者は下和田先生、進行は永田先生、



ビデオ撮影は床次先生が担当した。

質疑応答では、生徒会長の油田さんと、荒木さん、山城さん、池田さんが、「中国の美味しい料理」などについて質問。生徒からは「総領事館の方が優しくて楽しかった」「北京ダックを現地で食べてみたい」「上海ガニが上海のカニではなくてびっくり」「香辛料のことも調べたい」「授業では習わない多様な文化、観光地、アプリ等も知れてよかった」「いつか中国の一番高いビルの最上階から街全体を見回したい」「中学の頃から『史記』などを読み深めてきたが、もっと中国と親交を深めたいと思った」「これからも中国語の勉強をがんばります！」等の声が聞かれた。

総領事館も交流会実現を大変喜び、感謝のメールを頂いた。この交流会について、九州ブロックのオンライン会議で紹介をする予定だ。（会長 鎌田敬）



◀▲鹿児島県立鹿児島東高等学校・大ゼミナール室